

豊橋駅南まちづくり ④

〈昨報①面の続き〉

「豊橋駅前大通南地区まちづくりビジョン」は、地権者、商店組合、自治会など幅広い

和を思い出させる懐かしさを感じるものが随所にある一方で、若者の個性あるこだわりの店が新たにでき、新旧が混然一体とした魅力にあらわれている」と評

▽駅2エリア(狭間児童広場周辺)▽駅3エリア(同広場東線)の5つに分け、それぞれの将来像も示している。

このうち、名豊ビルなど、市が管理する狭間児童広場などがあ

「ビジョン」では、再開発について、公共空間の整備や、

▽駅2エリア(狭間児童広場周辺)▽駅3エリア(同広場東線)の5つに分け、それぞれの将来像も示している。

このうち、名豊ビルなど、市が管理する狭間児童広場などがあ

「ビジョン」では、再開発について、公共空間の整備や、

2丁目地区再開発準備組合の関係者も、状態はよくない。何かがある。組合はつくったが、権利変更方式など事業の進め方を勉強している段階」と、現状を説明する。「何をつくるのか」といった具体的な構想は白紙の状態だ。

懐かしさが新しい地区へ

具体的議論これから

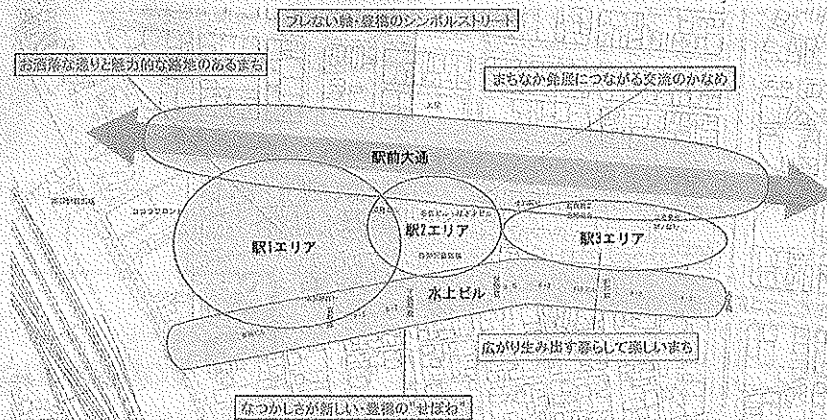
く地元関係者が主体となり、2年間で30回近い会合を重ねて検討してきた。地区の現状を把握し、分析するとともに、2050年先の長期的展望を持ちながら、今後5〜10年間の取り組みの方向性を示している。

「ビジョン」では同地区の現状を「昭

し、その将来を「懐かしさが新しい駅南地区」というキャッチフレーズで表す。

同地区を▽駅前大通▽水上ビル▽駅1エリア(ココロフロ

者、憩いの場にな



駅南地区のエリア別将来像。「豊橋駅前大通南地区まちづくりビジョン」より

豊橋市とも協力して進める市街地再開発事業には、地区基本計画、推進計画の作成や都市計画決定などの手続きが必要。ビルの取り壊しから建設に着工できるのは、順調に進んでも最速で3〜4年先になる見通しだ。(石川正司)